

## 毒麦のたとえ

マタイによる福音書一三章24〜43節

いや、毒麦を集めるとき、麦まで一緒に抜くかもしれない。  
刈り入れまで両方とも育つままにしておきなさい。(29、30)

主イエスはこの世界について麦のたとえを用いて語られました。ある人が畑に良い麦の種を蒔いたのに、敵が夜のうちにやってきて毒麦を蒔いたというのです。せっかく喜びの福音が伝えられても、教会の中にいつのまにか毒麦のような間違った教えが入り込むことを表しています。僕たちが「抜いてしまおうか」と提案すると、主人は、「良い麦も一緒に抜いてしまうといけないから、収穫までそのままにしておけ」と命じました。教会は常に、毒麦のように教会に害をもたらす信仰者を引き抜こうとします。けれども主イエスは、「これは毒麦だと決めつけてはいけない。それをするのは私の仕事ではないか」と言われます。人間の目には、麦と毒麦とを正確に見分けることは出来ないからです。主イエスは今も、毒麦が良い麦へと変えられるように、変革のみわざをなし続けておられるのです。